

## 運転者配置転換に注意

I OCH S

NPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHI S、武田裕理事長)は、ドライバーの配置転換において大きなストレスが発生するため、管理者はストレス軽減に配慮するよう呼び掛けている。

同法人が中心になり、運輸業界における健康管理をトラック事業者と医療関係機関で考える「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」で事例発表した。

参加トラック事業者の中で、長年タンクローリー輸送の業務に就いていたドライバーをタイヤの配達業務に配置転換した際、新しい業務に就いて数日でドライバーが心筋梗塞を発症。引継ぎで前任者が同乗していたために、発症に気付いて車を停車させて救急車を手配した。ドライバーは一命を取り留め、事故も回避した。

レコーダーに記録されたいた発症時の記録映像を流し、同乗者がいなかつた場合、2次災害が発生していた可能性があったと分析。現在リハビリに入っているドライバーのメンタルケアの状況も説明した。

作本貞子副理事長は「睡眠時無呼吸症候群(SAS)の治療が途中だったなどの要因もある。日常の健康管理に加え、運転に影響を及ぼす心理的問題にも配慮しなければならない」と呼び掛けていた。